

株式会社 **カプコン**

(証券コード：9697)

COFFEE & GAMES
CAPCOM
CAFE

MONSTER HUNTER
WORLD
ICEBORNE
モンスターハンターワールド



第41期 中間株主通信

2019年4月1日から2019年9月30日まで

©CAPCOM



辻本 憲三 辻本 春弘

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。先の方台風や記録的な大雨などにより亡くなられた方々ならびにご遺族の皆様には謹んでお悔やみ申し上げます。また、被災された皆様には衷心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧をお祈りいたします。さて、ここに当社グループ第41期上期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の事業の概況と中間決算についてご報告申し上げます。当中間連結会計期間における当業界は、5G時代の本格的な到来を控え、新たなビジネスチャンスを探って、大きな変化の波が押し寄せてまいりました。このような状況のもと、当社は開発費の抑制や開発期間の短縮を行うため、開発人員の増強により内作比率を高める

とともに、開発プロセスや収益管理の改善など競争力の源泉である開発体制の充実強化に取り組んでまいりました。また、将来の成長が期待されるeスポーツ事業に資金や人材を投入するなど、中長期的な企業価値の向上に向けて経営資源を注力してまいりました。こうした中、今年9月に発売した当期の主力タイトル「モンスターハンターワールド：アイスボーン」(プレイステーション 4、Xbox One用)が安定した人気に支えられ全世界で280万本を出荷しました。

加えて、大型のリピートタイトルが引き続き海外を中心に人気を持続するとともに、好採算のダウンロード販売が拡大したことにより収益向上に貢献しました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は、販売形態をパッケージ版からダウンロード版へ転換促進したことなどもあって372億72百万円(前年同期比14.0%減)と減収になりました。一方、利益面につきましては、ダウンロード販売中心の「モンスターハンターワールド：アイスボーン」のヒットに加え、リピートタイトルにおいても採算性が高いデジタル販売比率の向上等により営業利益139億92百万円(前年同期比33.2%増)、経常利益140億2百万円(前年同期比36.0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益98億46百万円(前年同期比43.7%増)といずれも増益になりました。

なお、中間配当金につきましては、株主還元の実現を図るため1株当たり5円増配の20円とさせていただきます。

今後の見通しといたしましては、当業界は次世代通信規格「5G」が国内で来年実用化されることに伴い高速大容量が

つ低遅延の通信が可能となるため、スマートフォンでも高精細で多数が同時にプレーできるクラウドゲームの登場が予定されるなど、ユーザーの選択肢が多様化し、事業環境は急速に変化するものと思われま

す。また、ダウンロード販売は、パッケージ販売に比べてディスク等の製造コストが不要なことに加え、流通コストの削減や在庫リスクの解消など、メリットが多いため販売モデルの転換が加速するものと思われま

す。このような情勢のもと、当社は経営の根幹をなす家庭用ゲームソフトの開発に傾注するため優秀な人材の確保、育成により開発体制の拡充を図るほか、市場動向に対応した戦略的なマーケティング活動や採算性が高いダウンロード販売の拡大、マネジメント体制の強化などにより競争優位性を構築し、每期安定した収益が確保できるよう努めてまいります。

さらに、国内市場は成熟化傾向や少子高齢化が進む状況下、成長シナリオを実現するためには海外展開の増進が不可欠であります。このため、主戦場である欧米に加え、近年、成長著しいアジアにおいて、海外で人気があるコンテンツの投入により顧客満足度の向上を図るとともに、販売シェアの拡大によりアドバンテージを築いてまいります。

一方で、近時、盛り上がりを見せているeスポーツは、将来の成長戦略の一つと位置付けているため人材や資金の投入に加え、「ストリートファイターリーグ」や「CAPCOM Pro Tour(カプコンプロツアー)」の各種イベントの開催や

全国地方都市の地元企業と組んで地方チームの組成、育成計画を発表するなど、市場拡大を見据えて着実に布石を打っております。しかしながら、国内は種をまいている段階であり、クリアすべき法規制やプログラマーの育成等、環境の整備や克服すべき課題もあります。したがって、本事業をマナタイズ(収益化)するためには、中長期的な視点からビジネスモデルを構築する必要があり、本格的な収穫の時期を迎えるには、まだ一定期間を要するものと思われま

す。他方、企業を取り巻く社会環境の変化に対応して、株主、顧客、従業員、地域社会などのステークホルダーとの信頼構築や社会的責任を果たすためESG(環境・社会・企業統治)を推進するとともに、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

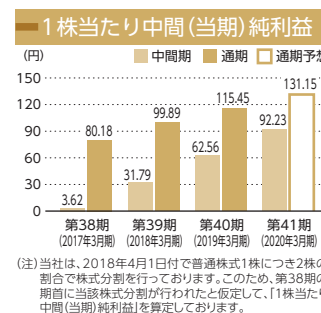
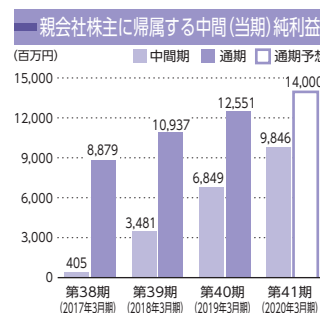
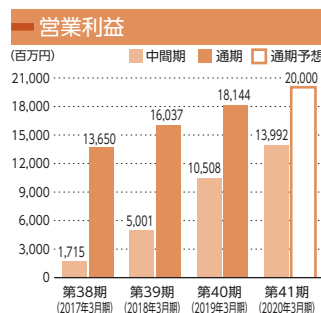
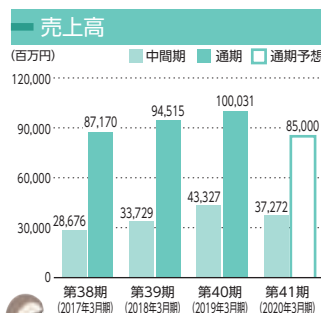
2019年11月

代表取締役会長
最高経営責任者(CEO)

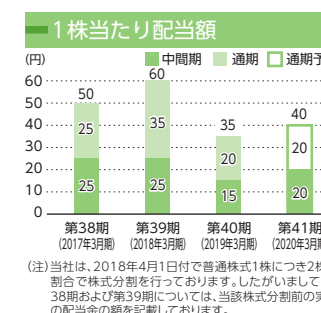
辻本 憲三

代表取締役社長
社長執行役員
最高執行責任者(COO)

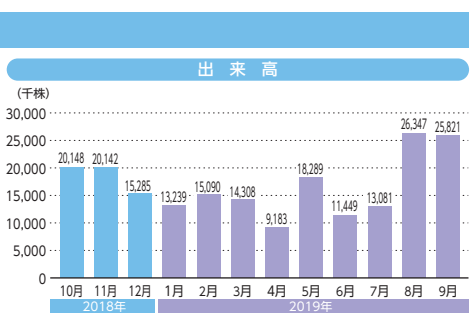
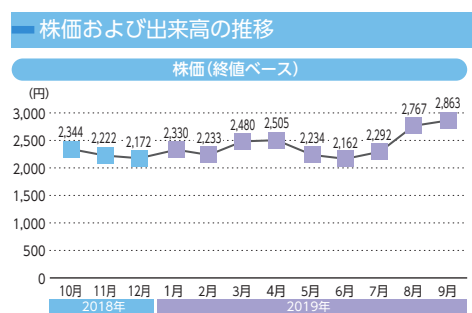
辻本 春弘



(注)当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、第38期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり中間(当期)純利益」を算定しております。



(注)当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。したがって、第38期および第39期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。



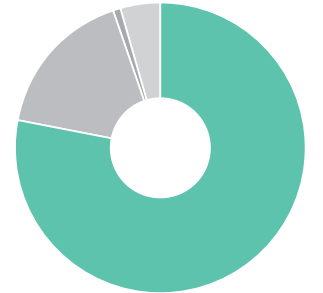
デジタルコンテンツ事業

「モンスターハンターワールド：アイスボーン」(プレイステーション 4、Xbox One用)が堅調に推移するとともに、収益アップのけん引役を果たしました。また、前期にヒットした「バイオハザード RE:2」(プレイステーション 4、Xbox One、パソコン用)や「デビル メイ クライ 5」(Xbox One、プレイステーション 4、パソコン用)がユーザー層の拡大により続伸したほか、2018年1月に発売した「モンスターハンター：ワールド」(プレイステーション 4、Xbox One、パソコン用)も息が長い売行きを示すなど、利幅が大きいリピーター販売の健闘により利益を押し上げました。

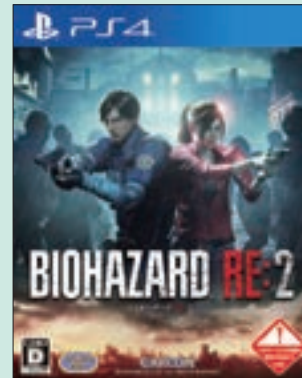
この結果、売上高はダウンロード販売比率の向上により291億63百万円(前年同期比14.7%減)となりましたが、営業利益につきましては、「モンスターハンターワールド：アイスボーン」やリピータータイトルの寄与などにより145億3百万円(前年同期比23.4%増)となりました。

売上高構成比

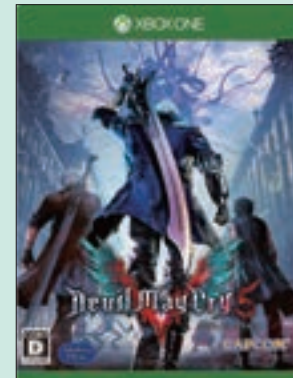
2019年9月期 **78.2%**



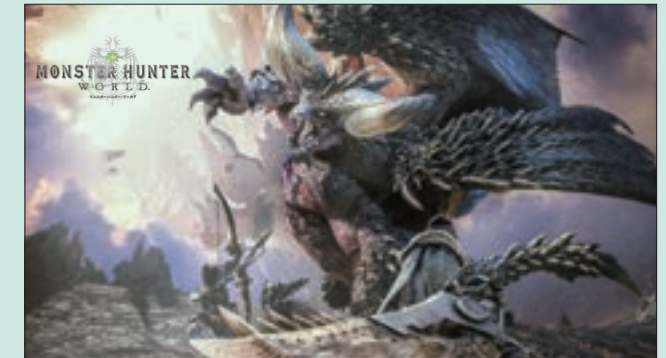
「モンスターハンターワールド：アイスボーン」
(プレイステーション 4、Xbox One用)



「バイオハザード RE:2」
(プレイステーション 4、Xbox One、パソコン用)



「デビル メイ クライ 5」
(Xbox One、プレイステーション 4、パソコン用)



「モンスターハンター：ワールド」
(プレイステーション 4、Xbox One、パソコン用)

財務ハイライト
株主の皆様へ

事業の概況

中間連結財務諸表

IR情報
会社データ

アミューズメント施設事業

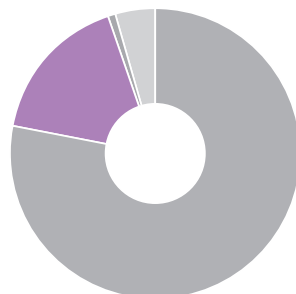
「地域一番店」を旗印に各種イベントの開催やサービスデーの実施など、趣向を凝らした地域密着型の集客展開によりコアユーザーの獲得やリピーターの確保、ファミリー層の取り込み等、客層の拡大に努めてまいりました。

当該期間は、「プラサカパソコン池袋店」(東京都)および「プラサカパソコン藤井寺店」(大阪府)の2店舗をオープンしましたので、施設数は39店舗となっております。

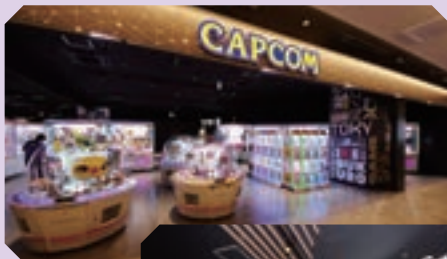
この結果、売上高は62億33百万円(前年同期比13.3%増)、営業利益は9億15百万円(前年同期比24.6%増)となりました。

売上高構成比

2019年
9月期 **16.7%**



TOKYO



「プラサカパソコン池袋店」(東京都)

OSAKA



「プラサカパソコン藤井寺店」(大阪府)

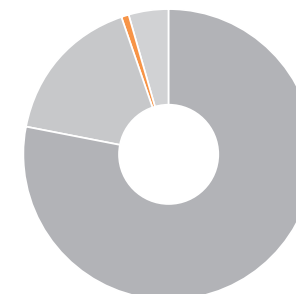
アミューズメント機器事業

遊技機市場は、型式試験方法の変更などにより縮小傾向に歯止めがかからない状況下、パチスロ機部門は新機種への投入がなかったため主にライセンスビジネスによる事業展開を行ってまいりました。

この結果、売上高は2億41百万円(前年同期比89.1%減)と減収になりましたが、営業利益は67百万円(前年同期は営業損失6億25百万円)と小幅ながら黒字に転換いたしました。

売上高構成比

2019年
9月期 **0.6%**

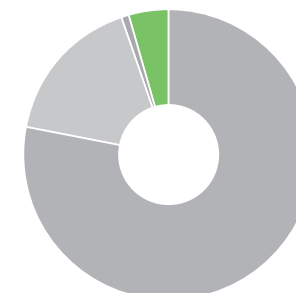


その他事業

主なものはライセンス許諾によるロイヤリティ収入やキャラクターグッズなどの物品販売で、売上高は16億33百万円(前年同期比16.4%増)、営業利益は7億33百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

売上高構成比

2019年
9月期 **4.4%**



©CAPCOM CO., LTD. 2018, 2019 ALL RIGHTS RESERVED.
©CAPCOM CO., LTD. 1998, 2019 ALL RIGHTS RESERVED.
©CAPCOM CO., LTD. 2019 ALL RIGHTS RESERVED.
©CAPCOM CO., LTD. 2018 ALL RIGHTS RESERVED.

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	前中間期 (2018年9月30日現在)	当中間期 (2019年9月30日現在)	前期 (2019年3月31日現在)	科目	期別	前中間期 (2018年9月30日現在)	当中間期 (2019年9月30日現在)	前期 (2019年3月31日現在)
【資産の部】					【負債の部】				
流動資産		93,899	98,219	90,817	流動負債		20,005	24,377	23,212
現金および預金		49,963	57,751	53,004	支払手形および買掛金		2,348	2,025	3,988
受取手形および売掛金		9,176	12,955	13,970	電子記録債務		983	688	1,153
商品および製品		1,369	1,053	1,182	1年内返済予定の長期借入金		1,601	1,429	1,579
仕掛品		1,292	1,222	734	未払法人税等		2,059	4,760	4,251
原材料および貯蔵品		1,480	624	538	賞与引当金		1,444	1,653	3,089
ゲームソフト仕掛品		26,265	22,188	16,926	その他		11,567	13,819	9,149
その他		4,360	2,479	4,518	固定負債		12,043	11,269	11,445
貸倒引当金		△7	△55	△58	長期借入金		7,450	6,021	6,735
固定資産		29,615	33,157	32,590	退職給付に係る負債		2,941	3,124	3,004
有形固定資産		19,854	20,861	20,359	その他		1,651	2,123	1,705
建物および構築物(純額)		10,803	10,587	10,845	負債合計		32,049	35,646	34,658
その他(純額)		9,051	10,274	9,513	【純資産の部】				
無形固定資産		639	395	432	株主資本		91,648	97,418	89,708
投資その他の資産		9,120	11,900	11,798	資本金		33,239	33,239	33,239
その他		9,151	11,932	11,830	資本剰余金		21,328	21,329	21,328
貸倒引当金		△30	△32	△32	利益剰余金		58,536	70,307	62,595
資産合計		123,515	131,377	123,407	自己株式		△21,455	△27,456	△27,456
					その他の包括利益累計額		△182	△1,688	△958
					その他有価証券評価差額金		124	13	26
					為替換算調整勘定		△27	△1,445	△713
					退職給付に係る調整累計額		△279	△256	△271
					純資産合計		91,465	95,730	88,749
					負債純資産合計		123,515	131,377	123,407

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前中間期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	当中間期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	前期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)
売上高		43,327	37,272	100,031
売上原価		24,657	14,752	62,809
売上総利益		18,669	22,520	37,222
販売費および一般管理費		8,161	8,527	19,078
営業利益		10,508	13,992	18,144
営業外収益		682	198	974
受取利息		51	129	171
受取配当金		8	8	16
為替差益		565	—	362
その他		57	59	422
営業外費用		892	188	924
支払利息		41	36	80
支払手数料		34	34	69
割増退職金		634	—	601
事務所移転費用		165	—	—
為替差損		—	63	—
その他		17	53	173
経常利益		10,297	14,002	18,194
特別損失		418	10	423
固定資産除売却損		19	10	30
減損損失		398	—	393
税金等調整前(当期)純利益		9,879	13,991	17,770
法人税等合計		3,030	4,145	5,218
法人税、住民税および事業税		1,440	4,361	6,603
法人税等調整額		1,589	△215	△1,385
中間(当期)純利益		6,849	9,846	12,551
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益		6,849	9,846	12,551

表紙の説明 「モンスターハンターワールド：アイスボーン」

「モンスターハンター」シリーズは、雄大な自然の中で巨大なモンスターに立ち向かうハンティングアクションゲームです。2018年1月に発売した「モンスターハンター：ワールド(以下ワールド)」は、出荷本数1,400万本を達成(2019年10月7日時点)するなど当社の旗艦タイトルとなっております。

「モンスターハンターワールド：アイスボーン」は、「ワールド」のエンディング後から続くストーリーを体験することができます。

表紙は当社が運営するキャラクターカフェ「カブコンカフェ」とのコラボレーションのイラストです。



中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	期別	前中間期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	当中間期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	前期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー		6,325	10,138	19,847
投資活動による キャッシュ・フロー		△1,089	△1,350	△2,261
財務活動による キャッシュ・フロー		△2,867	△3,017	△11,443
現金および現金同等物 に係る換算差額		1,055	△1,023	323
現金および現金同等物 の増減額		3,423	4,746	6,464
現金および現金同等物 の期首残高		46,539	53,004	46,539
現金および現金同等物 の中間期末(期末)残高		49,963	57,751	53,004

財務ハイライト
株主の皆様へ

事業の概況

中間連結財務諸表

IR情報
会社データ

会社の概要

(2019年9月30日現在)

社名 **株式会社 カプコン**
(CAPCOM CO., LTD.)
設立 1979年5月30日
創業 1983年6月11日
主要な事業内容 家庭用テレビゲームソフト、モバイルコンテンツおよびアミューズメント機器等の企画、開発、製造、販売、配信ならびにアミューズメント施設の運営
資本金 332億39百万円
従業員数 連結3,002名(単体2,695名)
ホームページ <http://www.capcom.co.jp/>

株式の状況

(2019年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 300,000,000株
- 発行済株式の総数 135,446,488株
- 株主数 13,922名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
株式会社 クロロード	10,682	10.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,722	5.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,904	4.59
辻本美之	4,038	3.78
辻本憲三	4,019	3.77
辻本春弘	3,099	2.90
辻本良三	3,091	2.90
ジー・ピー・エル・カチーフ・オツペンハイマー ジャステック アカウ	2,856	2.68
ピー・エヌ・ワイ・エム アズ・エー・ジー・テイ クライアント 10 パーセント	2,038	1.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,793	1.68

(注) 持株比率については、自己株式数(28,695千株)を控除して算出しております。

取締役および監査等委員である取締役

(2019年9月30日現在)

代表取締役会長 最高経営責任者(CEO)	辻本 憲三
代表取締役社長 社長執行役員 最高執行責任者(COO)	辻本 春弘
取締役 専務執行役員	江川 陽一
取締役 専務執行役員 最高財務責任者(CFO)	野村 謙吉
取締役 専務執行役員	根尾 邦男
取締役	佐藤 正夫
取締役	村中 徹
取締役	水越 豊
取締役 (常勤監査等委員)	平尾 一氏
取締役 (常勤監査等委員)	岩崎 吉彦
取締役 (監査等委員)	松尾 眞

(注) 取締役 佐藤正夫、村中 徹、水越 豊、岩崎吉彦および松尾 眞の各氏は、社外取締役であります。また、社外取締役5名全員は株式会社東京証券取引所に対し、独立役員として届け出ております。

カプコンIRサイトのご案内 <http://www.capcom.co.jp/ir/>

当社では、株主や投資家の皆様に最新情報をタイムリーに提供することを目的として、ウェブサイトを活用したIR活動にも注力しております。カプコンIRサイトでは、株式情報や経営戦略に加え、開発者へのインタビューやアナリストの評価など様々な情報提供を行っております。

当社IRサイトは、情報の充実度や使いやすさにおいて評価機関より高い評価をいただいております。



IRトピックス

いま注目すべきIR活動をメインビジュアルで視覚的に告知することに加え、最新情報が素早く確認できるシステム(RSS)にも対応しております。

個人投資家の皆様へ

当社をより深くご理解いただけるよう、カプコンの強みや事業内容などをわかりやすくご説明しております。

ソーシャルメディア CAPCOM IR 公式アカウント

TwitterやFacebookなどのソーシャルメディアを通じて、プレスリリースや新聞・テレビでのメディア掲載情報などを発信しております。

IRアプリ「カプコンIR(iOS/Android)」

株価情報や最新ニュースリリース、決算発表等の最新IR情報をお届けするスマートフォン向けアプリケーションです。資料の閲覧や保存など簡単な画面操作でご利用いただけます。

<http://www.capcom.co.jp/ir/mobile/apps.html>

『統合報告書 2019』発行

当社の「統合報告書」は、株主・投資家ならびにステークホルダーの皆様へ、中長期的な企業価値向上に向けた取り組みをお伝えし、更なる対話のきっかけになることを目指して発行しております。また、シンプルでわかりやすい表現を目指し、重要な項目について視覚的に内容が理解できるように工夫しました。

ご希望の方は当社広報IR室までお問い合わせいただくか、当社IRサイトの資料請求フォームをご利用ください。

株式会社カプコン 広報IR室 電話06-6920-3623

株主メモ Shareholder Information

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主日 確定	3月31日
中間配当金受領株主日 確定	9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777
公告方法	電子公告 当社のホームページ(http://www.capcom.co.jp/)に掲載します。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所



JPX-NIKKEI 400

当社は、株式会社日本取引所グループ、株式会社東京証券取引所および株式会社日本経済新聞社が共同で開発した株価指数である「JPX日経インデックス400」の構成銘柄に選定されています。

■ ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として株主様が口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行にお問い合わせください。なお、同行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



この報告書は、環境に配慮し、植物油インキを使用しております。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。